

四十周年を迎えて

つながるこころ・つなげる明日

公益社団法人金沢こころの電話では、二〇一五年創立四十周年を迎えました。日本では四番目にできた電話相談の組織です。二〇一四年五月総会後から、理事会では四十周年の記念事業についての相談を始めました。数か月かけて検討を重ね、標語を「つながるこころ・つなげる明日」と定め、二〇一五年十月二十四日(土)に記念式典とパーティーを行うこと、

四十年の歩みがわかる記念誌を発行することを柱として、それぞれの担当責任者を決め、理事全員がどれかに所属して準備を進め、進捗状況を月一回開かれる理事会で報告して、意見交換をしながら、内容を固めていきました。

記念式典には知事・市長の列席を依頼し、祝辞を頂けるよう依頼すること、関係機関の方々の列席依頼、一般市民の方々にも式典後行われる講演会への聴講呼びかけの為、チラシを一万枚作成することも決議されました。

記念式典・講演会の日時の決定後、二〇一五年二月講師交渉に入り、講師が決定。その後、講師の

プロフィールや演題について、講演時間の連絡、交通手段、講師著書の販売連絡など三十回ほど事務局が窓口となり連絡を取り合いました。

【創立四十周年記念式典・講演会について】

日時

二〇一五年十月二十四日(土)

十四時～十四時四十五分式典
パイオリンとチェロの演奏
十五時～十六時三十分
記念講演

場所

金沢ニューグランドホテル

4階 金扇

講師

野の花診療所所長 ホスピス医

徳永 進氏

演題「いのちの由来」

講演会前日、来場者に資料・記念品配布の準備をする。

当日は、会場準備、受付、著書販売、会場案内、写真係などボランティアスタッフ三十名が集まり、準備に取り掛かりました。



式典 受付

記念式典終了後、講演会。会場は二百名以上の聴講者でほぼ満席状態。講師の優しさが伝わる話しぶりに心奪われました。講師はこれまで医師として多くの患者との関わり、生と死について考えさせる、いくつもの事例を話され、途中、講師はハーモニカ演奏で聞くものの心を和ませてくださいました。生と死の話の穏やかな気持ちで聞かせていただき、死というものにきちんと向き合って行



徳永進氏 著書販売



講演者 徳永進氏

金沢こころの電話

きましようというメッセージを頂いた講演会でした

【記念誌制作の取り組みについて】

日々の活動を通じもつとも感じること、私達の活動も時代と共にその必要性は増すばかりということとです。時代の変化に伴い、相談件数・相談内容も大きく変化しておりますが、その記録を四十年間取りつづけていることも私達の活動の重要な事です。

四十年という長きにわたり取りつづけた記録は、資料としても大変貴重であり、この記録も広く一般に公開することで、市民生活にも役立つものと考えております。

記念誌においては私達の活動がどの様に変化してきたかを紹介するための「小史」をはじめ、四十年分の相談件数や直近十年分の相談内容を十テーマに分類し掲載しております。

私達の活動を支えてこられた相談員の皆さんや相談員のバックアップとして様々な方々の尽力も忘れてはなりません。そこで、相談員としての「電話カウンセラー」の養成事業、会員の為の研修会、また様々な活動について紹介させていただきます。

設立当初からの中心メンバーであった役員についても掲載し、先と併せ関わった方々の紹介もさせていただきます。

また四十周年記念企画として『創立四十周年記念座談会』を行いました。



座談会のメンバー

設立当初から私達の活動に参加されている方々や歴代の会長に追加いただき、当時の事をざっくばらんにお話しいただきました。このような内容も私達の活動の本質を後世へ引き継ぐ重要な事かと思えます。

私達の相談活動を記念誌を通して紹介させていただくことは、私達の責任であり、今後さらには活性化させるために重要な事です。相談員の方々がこの冊子を手に取り、一層業務に励んでいただいたり、指導などで関わってくださいました方々には組織の成果を示す事で

あり、活動を支援してくださいました方々には感謝をお伝えしたいという想いを込めて制作させていただきました。

【パーティーについて】

会場

金沢ニューグランドホテル

五階 銀扇

日時

平成二十七年十月二十四日(土)

十七時～十九時

参加者

会員五十二名、特別会員一名、

賛助会員八名 合計六十一名



懇親会 沖縄踊り

係の事前準備として、ホテルとの調整、アトラクション出演者との調整(琉球舞踊・「金沢三線」/ヴォーカル、フルートピアノのユニット「クローバー」、プログラム及びタイムスケジュール作成、名札作成、席次作成など手分けして行いました。

まず、オープニングセレモニーで金沢三線による祝福の舞①四ツ竹②エイサーで開宴、山内会長挨拶の後、松田相談役による乾杯の音頭で会食開始、しばらくして、クローバーの音楽で会場は盛り上がりました。最後の歌では、山内会長も参加して東京ブギウギを踊り、そのあと、予定になかった賛助会員の感想と想いを八名に語ってもらったこともできました。それぞれが金沢こころの電話とのかかわりとその思いを率直に、あるいは楽しく話され、今回一番盛り上がった一幕でした。そして、アツという間の二時間が終わり宮川副会長の言葉で閉宴となりました。